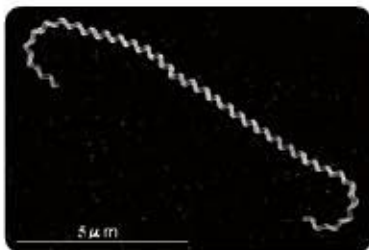


夏の川遊びは「レプトスピラ症」に注意！

レプトスピラ症って？

レプトスピラ症とは、らせん状の細菌「レプトスピラ菌」が原因で起こる感染症です。この「レプトスピラ」という名前、実は野口英世博士(千円札の肖像画の人物)が名付け親です。レプトスピラ菌は、主にネズミやマングースなど野生動物が体内に保有して、尿中に排出されます。人はこの尿や、尿に汚染された水(川などの淡水)や土壌に触れることで、皮膚の傷、鼻や口などの粘膜から体に菌が侵入して、感染します。



レプトスピラ菌



川遊びで感染しないために

沖縄県では、毎年レプトスピラ症患者が10~40名程度発生しています。2008~2018年の患者発生状況を見ると、特に8~9月が多く、この時期の川や滝で

の遊泳やトレッキング、カヌーなど、いわゆる「川遊び」による感染が全体の84%を占めています。そのため、夏に観光や趣味で川遊びをする機会の多い方や、川遊び関連のレジャーガイドの方などは、特に感染しないための注意が必要です。川遊びで感染しないために、次の①~③に気をつけましょう。

- ①体にすり傷や切り傷がある場合は、川遊びを控えましょう
- ②川遊びをする際は、体に傷をつくらぬよう適切な服装を心がけましょう
(帽子、ラッシュガード、グローブ、マリンスーツなどの着用)
- ③川の水はそのまま飲まないようにしましょう

川遊びの後、もし発病したら

レプトスピラ菌に感染した場合、約3~14日後に38℃以上の発熱、頭痛、筋肉痛などのインフルエンザによく似た症状があらわれます。治療には抗菌性物質が有効ですが、治療が遅れると重症化して、最悪の場合、死に至ることもあります。川遊びの後、もしレプトスピラ症が疑われる症状があらわれたら、すぐに医療機関を受診して、医師に「川に入った」ことを必ず教えてください。その情報がレプトスピラ症診断の重要な手がかりとなって、適切な治療を受けられるようになります。



レプトスピラ症のポスター・リーフレットが、県衛生環境研究所ホームページ(<https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/eisei/leptospiira.html>)からダウンロードできます。ご家庭や学校、職場等でお役立てください。

問い合わせ

地域保健課

電話:098-866-2215

FAX:098-866-2241

熱中症はこえかけで防げる

こまめな水分補給 え 炎天下を避けよう か 風通しを良く け 健康管理!